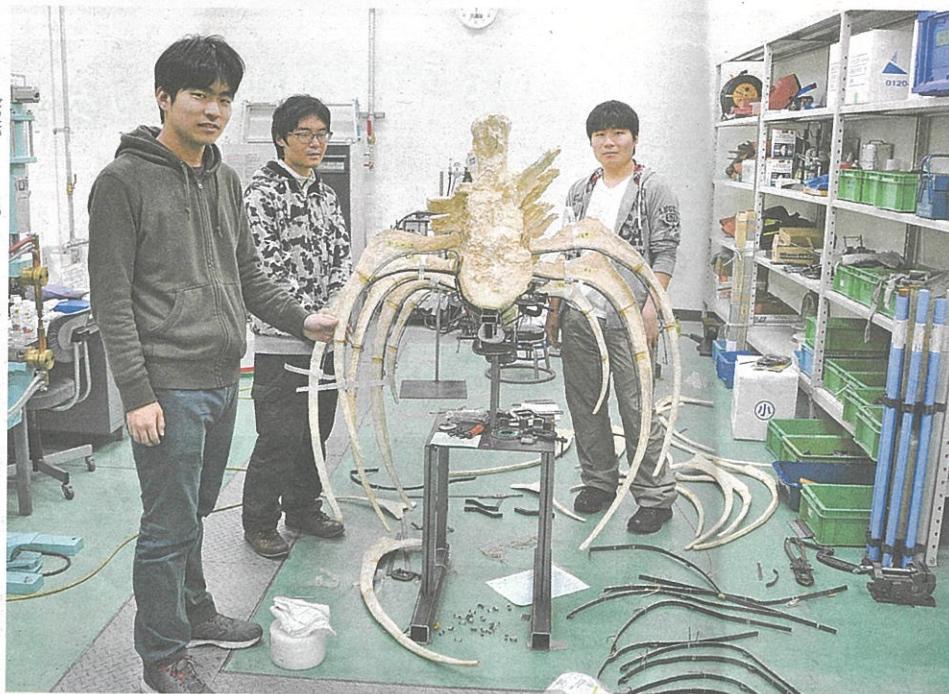


胴体に重ね骨をつける作業中。化石は変形が激しいので骨を組み合わせるのに悩んでしまいます



工夫重ね骨格組み上げる



組み上がった後足と腰。今にも歩き出しそう。

「骨格組み上げる」とは夢があるという事で、本当にたくさんの方に助けてもらいながらここまでやってきましたよ。さ

いわい私の大学には工作センターがあり、鉄の加工や溶接の専門家がいて、学生もいろいろ教わりながら、そして失敗と工夫を繰り返しながら仕事が進んでいます。

「卒論」とは今までに誰もやつ

ていなることにチャレンジすることです。まだ世界のどこにもない「骨の着脱自在な大型恐竜骨格」がもうすぐ完成します。ぜひ見に来てください。

3月2日に公開!

タルボサウルス組み上げ骨格は3月2日(土)に岡山理科大学のA1号館で公開されます。同日午後2時からは「集え!日本の若手恐竜研究者」と題して、30歳代の新進気鋭の研究者が恐竜学の最前线を紹介します。詳しくは恐竜学博物館で検索してみてください。

1月の連載でタルボサウルスの全身骨格を、学生が卒論で組み上げているという話をしました。さてどうなったでしょうか? 少し遅れ気味なのですが、写真の通り、腰の部分を立ち上げるところまでたどり着きました。胴体と頭も、つなげ

ました。頭と胴体と頭も、つなげるところまできました。あとはそれを高い位置に固定する鉄骨を組まなければなりません。

「だれもやったことないんでしょ?」「レプリカの色付けは難し

いですよ」「卒業するまでにできるんですか?」

みんなとも心配。学生も私もとも心配。

でも、大学の中に「アジアのテ

ラノサウルス」が組み上がるこ

とは夢があるという事で、本当にたくさんの方に助けてもらいながらここまでやってきましたよ。さ

いわい私の大学には工作センターがあり、鉄の加工や溶接の専門家

がいて、学生もいろいろ教わりながら、そして失敗と工夫を繰り返しながら仕事が進んでいます。

「卒論」とは今までに誰もやつ

ていなることにチャレンジすることです。まだ世界のどこにもない「骨の着脱自在な大型恐竜骨格」がもうすぐ完成します。ぜひ見に来てください。

3月2日に公開!

アジアのティラノサウルス

岡山理科大教授・石垣忍

恐竜調査隊が行く



まめ豆 ち知しき識

恐竜の全身骨格展示

実物の化石骨は大変貴重

でこわれやすい。なのでほとんどの恐竜骨格展示はレプリカを作って穴を開け、鉄骨を通して組み上げます。でもこの方法では完成すると簡単には動かないし、骨をばらばらにできません。今回はその常識をくつがえそうと学生がチャレンジしています。将来、ちがう姿勢で組み上げる学生が出てくるかも? それはあなたかも?